

### ～中部地方整備局管内災害等発生状況～

#### ○御嶽山平成19年3月以来の噴火・死傷者多数



御嶽山噴火状況

9月27日（土）11：52頃紅葉真っ盛りの御嶽山で平成19年以来の水蒸気噴火が起きました。

天候もよく、土曜日でもあったことから多くの登山者が入山し紅葉等を楽しんでいた昼近くでの噴火でした。

頂上付近に居た多くの登山者が、火山灰に埋もれたり、噴石に当たったりして57名の方が亡くなり、その他多くの負傷者も出てしまいました。

懸命の捜索にもかかわらず山頂付近に雪が訪れるようになり、10月17日に遭難者6名を残して今年の捜索が断念されました。

土石流対策として、鹿ノ瀬川に大型ブロック積み砂防堰堤も完成しています。

#### ○2週続けての台風来襲

10月に入って台風18号（10月6日）と台風19号（10月13日）が続けて東海地方に襲来しました。台風18号は静岡県に上陸し静岡市内で多くの地域が浸水し、静岡県清水区でJR東海道線をふさぐ土砂崩れや国道52号で4ヶ所の土砂崩れが発生するなどの被害が出ました。

台風19号は、強い勢力を保ったまま大阪から和歌山県、三重県、愛知県、岐阜県、静岡県を縦断していきましたが幸い大きな被害が無く済みました。

#### ○長野県北部で震度6弱の地震発生

11月22日 22：08マグニチュード6.7、震度6弱の地震が長野県北部で発生しました。倒壊家屋は全壊、半壊、一部損壊を含め1567棟にもおよび、46名の方々が重軽傷を負われました。



地震による倒壊家屋

この地域の人々は日頃から共助の意識を強く持ち、地震発生後、素早い近隣住民による安否確認や救助活動が行われたことによって死亡者の発生を防ぐことができたといわれています。

### ○年末、年始にかけて寒波が来襲

年末、年始にかけて全国的に寒波が強まり、12月5日未明から降り出した大雪は、徳島県で多数のトラックが立ち往生し、三好市、東みよし町、つるぎ町半田で計706世帯、1346人が孤立しました。

中部地方においても、年末には高山市や長野県を中心に大雪となり交通障害が発生し、年明けの1日夜半からの降雪により名阪国道（R25）亀山市から伊賀市にかけてスリップ事故で最大150台もの車両が立ち往生するなどし、改正災害対策法に基づく車両の移動を実施し通行止めの解消となりました。

## ～中部地方防災エキスパート活動記録～

平成26年9月から平成27年1月下旬までの防災エキスパート活動を報告いたします。

### ○各事務所における情報連絡・意見交換会等

\* 9月9日（火）沼津河川国道事務所において防災エキスパート6名と事務所幹部との連絡調整会議が実施されました。

連絡調整会議において、沼津河川国道事務所から防災エキスパートへの要請業務（案）が示され意見交換がされました。

\* 9月30日（火）静岡河川事務所において安倍川流域の現地視察を含めた防災エキスパート9名との意見交換会が実施されました。



（安倍川現地視察）



（静岡河川会議状況）

\* 10月7日（火）三河ブロック（豊橋河川、設楽ダム、矢作ダム）の情報連絡・意見交換会が豊橋河川事務所会議室で実施され、防災エキスパート14名が参加しました。会議には豊橋河川事務所所長をはじめ事務所幹部及び矢作ダム管理所長、専門官、設楽ダム工事事務所副所長、企画部防災課、中部技術事務所津波対策技術課などから14名が出席し最近の災害対応や重要水防箇所、

重点的注視希望箇所等の情報提供及び防災エキスパートに対する協力依頼に関しエキスパートの方々が高齢化する中、ボランティアでどこまで出来るのか、など意見交換がなされました。

\* 10月24日（金）三重県ブロック（三重河川、木曾川下流、紀勢国道、北勢国道、蓮ダム）の事務所と防災エキスパートとの情報連絡・意見交換会が三重河川国道事務所会議室において実施されました。三重河川国道事務所長はじめ各事務所の幹部20名と防災エキスパート26名が参加し、意見交換が行われました



（浜松河川国道意見交換状況）

**\*その他意見交換等実施状況**

月 日	事務所名	実施場所	参加事務所	エキスパート
10月23日	浜松河川国道	事務所会議室	浜松河川国道	18名
11月7日	長島ダム	島田連絡所	長島ダム	4名
12月17日	木曾川上流	協会岐阜支所	木曾上・越美	19名

**○事務所主催の防災訓練等に参加**

\* 9月19日（金）設楽ダム工事事務所における防災訓練が実施され、午前中に防災エキスパート2名（横堀昌顯氏、沢田忠士氏）が自主活動として自宅周辺の家屋倒壊2棟など被災想定状況を把握し事務所への情報伝達などの訓練に参加しました。



（被災状況確認状況）



\* 10月1日（水）浜松河川国道事務所における防災訓練が実施され、防災エキスパート4名（青山春男氏、水野益宏氏、新村孝行氏、松浦勝巳氏）が自主活動として自宅周辺の被災状況等の情報伝達訓練に参加しました。

## ○出動要請に基づく活動状況

\* 10月6日（月）台風18号により静岡国道事務所管内の国道52号（身延道）において、数箇所の土砂崩れが発生し、事務所から防災エキスパートの出動要請を受け防災エキスパート1名（一前修氏）が現地へ出動し、土砂崩落の状況及び片側交互通行に対する交通整理員の配置状況などの把握や出張所係長への助言などを実施しました。



（国道52号土砂崩れ箇所状況：土砂除去後）

何時、どこで、どんな災害が発生するかわかりません。防災エキスパートに寄せられる期待は大きいものとなってきていますが、防災エキスパート活動はあくまでボランティア活動であり、制度要綱に則って責任の所在などを考慮し、制度要綱の運用マニュアル4・(3)・2)②（防災手帳 P40 参照）を念頭に活動して頂きますようお願いいたします。

平成27年2月10日現在の防災エキスパート登録会員、313名

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局（一社）中部地域づくり協会 企画部  
名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内平和ビル8階  
TEL052-962-2227 FAX052-962-9083